



会報

第25号

発行者

平成29年2月3日発行

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

協議会事務局

PHS:070-6488-2049

URL <http://www.neko-kyo.com>

青葉区役所生活衛生課

TEL:045-978-2465~6

猫の適正な飼育・飼養を普及啓発し、人と猫が共生できる街づくりに資することを目的として設立された「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」は、会員の皆様のご理解・ご協力により、お陰様で設立以来15年目をむかえることができました。

不妊・去勢手術の大切さは以前に比べ確実に広まっています。

不妊・去勢手術済みのしるし「耳カット」も少しづつ普及してきました。しかしまだまだ、理解いただけていない方も多く、啓発活動が必要なのが現状です。

スタッフ一同頑張ります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

講演会

ペットの防災を考える



災害がおきたら
どうしたらいいの？

日ごろから準備は
必要？



「いざ」という時の備えについて、どうしていますか??

日時 **平成29年2月18日(土)**
午後1時～2時30分(12時30分受付開始)

場所 **青葉区役所 3階304号会議室**

定員 **50人(先着順)**

参加費 **無料!**



講師 **日向 千絵 氏**

青葉区ねことの暮らしを考える協議会 副会長
ニュータウン動物愛護会
横浜市動物適正飼育推進員



平成28年4月「平成28年熊本地震」発災後、被災地の支援を行った体験と日ごろのペット防災の備えについてお話をしていただきます。

その他、横浜市動物愛護センター職員からも行政の立場からペットの防災についてお話をさせていただきます。



お申込み

青葉区役所生活衛生課

電話 045-978-2465へ

もしくはFAX : 045-978-2423

窓口 : 区役所3階62番

講演会終了後

第16回 定期総会開催

平成29年2月18日(土)

午後2時40分から

青葉区役所

3階304号会議室

平成28年度

決算・事業報告

平成29年度

予算・事業計画 他

会長	井本 史夫 井本動物病院院長
オブザーバー	川崎 康宏 ピュア動物病院 院長
オブザーバー	土田 直人 こどもの国動物病院 院長
オブザーバー	堀川 智生 ベルジェ動物病院 院長
副会長	日向 千絵 ニュータウン動物愛護会
会計	井上 満知子 キャットメイト
事務局	清水 香世子 キャットメイト
理事	太田 成江 日本捨猫防止会
理事	小林 尚子 日本捨猫防止会

理事	長澤 恵子 日本捨猫防止会
理事	今 佳子 キャットメイト
理事	富澤 さおり 青葉区ねことの暮らしを考える協議会 (第16回定期総会にて承認予定)
監査	中島 房子 青葉区ねことの暮らしを考える協議会
監査	小林 佳子 青葉区ねことの暮らしを考える協議会
顧問	勝島 総一郎 青葉福祉保健センター長
顧問	鈴木 道夫 青葉区獣医師会会長
参与	鈴木 祐子 青葉区福祉保健センター生活衛生課長

キヤットメイトさんへ

『のら猫の不妊・去勢手術支援』に含まれていたマイクロチップ埋め込みは平成28年12月1日より除外となりました。

ご希望の場合は、施術・登録料金は依頼先の動物病院が定めた費用負担となります。

マイクロチップの有効性は、現在広く認識されるようになり、当協議会でもこれまで通り普及啓発に努めていきたいと思っております。

しかし、飼い主のいない猫に埋め込んだ場合、その利点を活かすきれないことを考慮しての結果です。皆様のご理解のほどよろしくお願いいたします。

青葉区民まつり・健康フェスティバル

平成28年11月3日(祝)青葉区役所周辺

今年も晴天に恵まれ、多くの人々でにぎわいました。

メインテーマは「地域の力」、「共に進もう心の絆を青葉から」をキャッチフレーズに実施されました。

外のブースでは

手作りした小物やご寄付の品々の販売を行いました。

売上金67,950円はすべて、

不幸な猫をふやさないための活動資金(不妊・去勢手術など)にあてられます。

体育館のブースでは

例年通り猫との暮らし方の相談等を受けましたが、苦情はほとんどなく、新しくした展示パネルも好評でした。今後もより良い猫との共生をめざし、啓発に努めたいと思っております。

啓発用パネルの一部→



トラ子ちゃんの

つぶやき



日本は今ねこブームね～

おうちの中で飼う場合も早めに不妊・去勢手術をしてほしいな！

ちょっとの隙に外に出てしまい交尾してしまうこともあるの！ まだまだ子猫だと思っていても生後半年でお父さん、お母さんになるのよ。

飼い主のいない不幸な猫がふえませぬように・・・

「お詫び」

昨年度の会費納入につきましては、作業上の手違いから誤った記載の『払込取扱票』を一部の方にお送りし、ご迷惑をおかけしました。慎んでお詫びいたします。